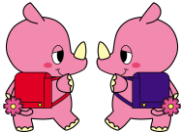




原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和6年
3月22日(金)
印西市立原小学校
校長室便り
〈第11号〉



令和5年度 卒業式



やわらかな日差しを受けて、校庭の木々や草花が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。

3月15日、令和5年度卒業式が行われ、172名の卒業生が原小学校を巣立っていきました。

6年生は1年生の給食や掃除の手伝いをしたり、冬の寒い早朝に外掃除をして学校のために進んで働いたりしてくれました。本当に下級生の良い手本でした。

以下は、「校長式辞」の一部です。

今年の7月から8月にかけて、フランス・パリでオリンピックが開催されます。そこに出場するために各国の選手たちは、一体どのくらい努力をしているのでしょうか。日本における女子教育の津田梅子さんが生前残した言葉があります。「何かを始めることは易しいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。」という言葉です。

皆さんは、この原小学校で、様々なことを学んできました。中学校に行っても、いろいろなことに挑戦し、一つでもいいので、「これだ!」というものを見つけ、努力し続けてください。その姿を応援してくれる人が必ずいます。これからも常に支えてくれる人がそばにいることに感謝し、友情を育み、中学校生活を充実させてほしいと思います。



修了式にて



本日の修了式の中で、私が児童に伝えた話です。

皆さんは、「終わりよければすべてよし」という言葉を知っていますか。この言葉は、「どんなに途中、うまくいかないことがあっても、最終的にはよい結果が出れば問題はない。」という意味だと思っている人がいますが、実は違います。皆さんは、どこが違うのかわかりますか。それは、「終わりよければすべてよし」というのは、最高の終わり方を目指して、準備をし、最善を尽くすという意味です。そこで、私は皆さんに、「終わりよければすべてよし」を目指してもらいたいと思います。では、「終わりよし」とするためには、どうすればよいのでしょうか。まずは、自分の最高の終わり方を想像します。次に、最高のスタートを切ります。スタートを切ったら、日々、小さなことにチャレンジし、こつこつ努力を積み重ねていきます。

あの有名な元メジャーリーガーのイチロー選手は、「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くひとつの道」と言っています。目標を達成するには、ショートカット（近道）はないと思います。こつこつと一生懸命努力していくことが、「終わりよければすべてよし」につながるのです。

来年度、皆さんにとって、「終わりよし」の一年にするためには、新学期のスタートや4月からの一日一日の過ごし方が大切になります。4月からよいスタートを切れるように、今から自分の最高の終わり方を想像して、準備を始めておいてください。

保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、本年度を無事終えることができました。心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。